

みんなで楽しく作ろう！多久的っぱいの夏野菜カレー

給食センター1日体験



▲多久翁さんグッズをかけて盛り上がりをもせたじゃんけん抽選大会



▶ムード漂うブルースを披露した疾風ブルースバンド

地元有志で結成されたCSOマタキタクナル主催で、7月27日、多久市物産館『朋来庵』南側自由広場を会場に、野外ライブイベント『もりあがらナイト2014』が開催され、およそ400人が来場しました。

第1回目となる野外ライブイベントは、「老若男女が楽しめるイベントを通じて元気なまちをつくろう」をテーマに、県内外で活動するアーティスト『^{はやて}疾風ブルースバンド』、『^{いけだたかおみ}池田隆臣』、『^{やつきまさとみ}矢次麻紗美』をゲストに迎え、大人のムード漂うブルースや懐かしの曲、オリジナル曲などが演奏され、会場は熱気に包まれました。

疾風ブルースバンドのリーダー^{たなかまさてる}田中正照さんは、「みなさんに楽しんでもらえる演奏がモットーです。素晴らしいイベントですので、今後も続いてほしい」と語りました。

また演奏前には来場者との参加型イベント『じゃんけん抽選大会』も開催され、多久市物産館朋来庵の多久翁さんグッズがプレゼントされました。

もりあがらナイト2014

老若男女が楽しめるイベントで、元気なまちづくり

7月24日、夏休み恒例の給食センター1日体験が、市内各学校の4年生（希望者51人）が参加して、学校給食センターで行われました。これは、給食への理解を深めてもらうため、一般財団法人学校給食振興会が毎年開催しているものです。

開会では、^{はしもとよしみつ}橋本善充所長が「今年はどんなカレーができるか楽しみです。がんばってください」と激励。子どもたちは調理員の指導のもと、具材となるかぼちゃなどの野菜を、包丁ではなくスライサーと呼ばれる機械で切ったり、千人分が調理可能な大鍋で肉などを炒めたりしながら、暑い調理場で元気いっぱい心を込めて約150人分のカレーを調理しました。また、カレーのほか、焼きとうもろこしとフルーツゼリーもみんなで作りました。

その後、会場を南多久公民館に移し、参加した子どもたちのほか、先生や関係者なども「美味しく出来上がった世界一のカレー」をいただきました。

参加した子どもたちは「家のカレーも美味しいけど、今日のカレーも美味しい」と自慢げに笑顔で話しました。



▶30℃を超える調理場で一生懸命に心を込めて調理しました



▲ヒンヤリ涼しい調理場でフルーツゼリー作り

8/1 Fri.

楽しみながら英語でコミュニケーション!



英語でのコミュニケーションや外国の異文化を体感する「イングリッシュサマーフェスタ2014」(主催:多久市英語部会)が、南多久公民館で開催され、市内学校の6

年生から8年生、希望者38人が参加しました。

主催者を代表し、西溪校の^{いせ}袈裟丸晋副校長が「英語を話すこと、友達を作ることに」もじもじ「しないで、楽しんでください」とあいさつ。子どもたちは5つのグループに分かれ、英語での自己紹介やゲーム、グループに分かれて英語で書かれたレシピを参考にした調理など、ALTや参加した友達との英会話でのコミュニケーションにチャレンジしていました。

7/27 Sun.

ハーレーダビッドソン佐賀キャラバン in 多久聖廟



二輪車の普及と安全運転の啓発を目的に、ハーレーダビッドソン佐賀主催で、多久聖廟大駐車場で展示・試乗会が開催され、市内外から約300人が参加しました。

このキャラバンは、県内各地で開催されており、今回は多久聖廟周辺で開催された『もりあがらナイト2014』に合わせて開催。14台のハーレーが展示されました。ハーレーダビッドソン佐賀の^{かたはら}柳原佐和子さんは「イベントを盛り上げるきっかけになれば。見て、触れて体感し、気軽にハーレーに親しんでほしい」と話しました。